

テトラグラマトンとクリスチャン・ギリシア語聖書

（“The Tetragrammaton and the Christian Greek Scriptures”の邦訳
です）

2002. 8. 21 全体を見直し

יהוה ヘブライ語聖書の書士が用いた神の名、テトラグラマトン。
右から Yohdh, He', Waw, He'

[第1章 テトラグラマトンとは何ですか](#)

[第2章 靈感とクリスチャン聖書](#)

[第3章 ギリシア語逐語訳研究 その1](#)

[第4章 ギリシア語逐語訳研究 その2](#)

[第5章 ヘブライ語によるマタイの福音書](#)

[第6章 ヘブライ語訳のテキストの源泉](#)

[第7章 灵感の限界](#)

[第8章 一世紀におけるギリシア語テキスト](#)

[第9章 写本公開の日付](#)

[第10章 初期のギリシア語写本からのテトラグラマトンの除去](#)

[第11章 テトラグラマトンか、主かの迷い](#)

[第12章 主、エホバ、灵感](#)

[第13章 異教でないとしたら、何なのか](#)

[第14章 Kyrios の不明瞭な意味](#)

[第15章 私にとっての主の意味](#)

[付録A J参照の源泉](#)

[付録B 237のエホバの記述の比較](#)

[付録C クリスチャンギリシア語聖書における Kyrios](#)

[付録D ジョージ・ハワード研究](#)

[付録E ヘブライ語訳のギリシア語テキスト](#)

[付録F 古代ギリシア語写本のファクシミリ](#)

[付録G ギリシア語語句辞典におけるテトラグラマトン \(J 20\)](#)

[付録H ヘブライ語の重訳](#)

[付録I ギリシア語写本のカタログ](#)

[付録J オリゲネースの『ヘキサプラ』](#)

[付録K 『Nomina Sacra』](#)

[Other Languages](#)

[Home](#)

付録L マグダラのパピルス

付録M 伝道翻訳のエホバ

付録N 組織との通信

お問い合わせは電子メールでおよせください。

tetra@sea.plala.or.jp

[Other Languages](#)

[Home](#)